

第2次高砂市文化振興基本方針（素案）に対する
パブリックコメント（市民意見募集）の結果について

1 提出された意見の概要とそれに対する考え方

整理 番号	意見の概要	市の考え方
1	<p>(1)限られた予算内で方針を実行するにあたり、まずは行政の主導がなければなにも変わらない。文化を牽引する人材育成や事例研究に投資するとともに、他市町や大学等との連携も視野に、行政が具体的方針を示していくべきである。</p> <p>(2)団体や個人の交流こそが地域文化向上の基本であるが、市内施設にはそれにふさわしい場がないことが最大の課題である。文化施設整備は行政にしかできない大事業であるとともに、一度建設すると数十年は建て替えることがなく、文化会館改築の際には「交流の場」の観点に重点をおくべきである。</p> <p>(3)昨今は地方都市でも、諸施設の老朽化や天災被害をも乗り越え、街並みが整備されている。高砂市もそのようなまちづくりに注力する自治体であってほしい。</p>	<p>第1次方針の結果を受け、次期方針において特に取り組むべき5点の課題を整理しました。ご指摘の人材育成についても、今後取り組むべき課題であると考えております。</p> <p>基本目標2施策2では人材育成について、同施策3ではつながりの充実についてそれぞれ掲げており、人材の発掘と活用、それらの連携の活性化による文化芸術の継承に重点的に取り組んでまいります。</p> <p>施策の推進にあたり、その全般において行政は協働、支援、環境整備等、市民や事業者の皆様と積極的に連携してまいりたいと考えております。</p> <p>貴見のとおり、文化会館の建て替えに際しては、十分な調査と将来を見据えた計画が必要であると考えます。ご指摘の「交流の場の創出」についても基本目標2施策3に掲げる、文化芸術活動を行う場の充実の一環として、施設のあり方も視野に入れ取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>市政に対するご意見として承ります。</p> <p>産業の発展に伴い、工場地帯や住宅地の形成により市全体の街並みが変化してきたところですが、歴史的な建物や風景が残る高砂地区を景観形成地区に指定し、地区ごとの基準を定め、まちなみの形成・維持・保全に取り組んでおります。</p> <p>また第5次高砂市総合計画においても、市民、事業者、行政の協働による地域の魅力向上に資するまちづくりに取り組むことを掲げており、住民や来訪者にとって魅力高い地</p>

		域づくりとともに、市の歴史文化の保全とPRに努めてまいります。
	(4) 高砂市には中心地がなく、文化施設を含む主要施設が分散している。じょうとんバスの市内循環システムの創設により、交通弱者の活動の一助とすることはできないか。	<p>市政に対するご意見として承ります。</p> <p>高砂市立地適正化計画において、高齢化や人口減少による交通弱者の増加や市街地の空洞化対策として、居住や都市機能に供する地域をそれぞれ誘導し、交通の拠点に病院や公共施設、商業施設を集めることで、駅間を結ぶ公共交通網を充実し生活利便の維持向上を目指すこととしております。</p> <p>これらによるコミュニティバスの利用活性化が、文化施設を含む主要施設間を網羅するルートの構築につながる可能性について、担当部署と検討してまいりたいと考えております。</p>
2	若年層の文化の担い手がおらず、伝統文化を継承できない。若年層（特に小中学生、高校生）のクラブ活動に伝統芸能を取り入れることや、企業との連携を検討されたい。	<p>基本目標1 施策3において、子ども、若者世代が文化芸術に触れる機会の充実を掲げているほか、文化の担い手（市民、団体、教育機関、事業者）間の連携及び協働を本方針の推進体系として掲げております。</p> <p>適切な推進体制のもと、各施策を実施してまいりたいと考えております。</p>
3	第1次方針を受け、理念の浸透から実践へと発展している。市の魅力をいかに周知し、方針理念を実現していくのが楽しみである。施策に一案として、「高砂検定」の実現を期待する。	<p>第1次方針の結果を受け、本方針に示す施策を着実に推進することで、文化振興、継承に取り組んでまいります。</p> <p>引き続き本市文化行政にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。</p> <p>また「高砂検定」につきましては、過去にその導入の可否について検討したところではありますが、財政面を含む諸課題により見合わせた経緯がございます。</p> <p>今後具体的施策を検討するにあたって、改めて導入の可能性について関係各所と協議するとともに、引き続き貴重なご提案として参考とさせていただきます。</p>
4	保育料の無料化もしくは児童手当の増額を検討してほしい。	市政に対するご意見として承ります。
5	(1)「高砂学」講師として、講座の継続、	基本目標1に掲げる市民が広く気軽に文

	<p>回数増、宮本武蔵についての勉強会の実施等を希望する。</p>	<p>化に触れる機会として、また基本目標2に掲げる担い手の育成の一助として、高砂学を重要施策として引き続き実施してまいりたいと考えております。今後も施策にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>また、市に関連する偉人については、主に周年（生誕、没後等）事業として講座等を設けているところですが、ご提案の内容につきましても、聴講者のニーズや歴史的背景などを踏まえ、今後の実現に向けて積極的に検討させていただきたいと考えております。</p>
	<p>（2）情報発信の強化と活動の場の確保、他分野（歴史、観光等）との連携が重要である。</p>	<p>基本目標2施策1及び3において活動する個人や団体の活動推進と、文化の担い手同士の連携促進を、また基本目標4では情報発信の強化のための施策に積極的に取り組むこととしており、これらの実現に向けた施策を検討してまいります。</p>
<p>6</p>	<p>（文章の修正） 50頁【文化芸術の鑑賞と活動】 15行目 「鑑賞した文化芸術はない」との回答者で、 日常生活で芸術を鑑賞することを</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。 適切な表現に改めます。</p>

2 意見提出数

提出方法	人数	件数
電子申請	3	6
郵送	1	1
F A X	1	2
メー ル	1	1
計	6	10